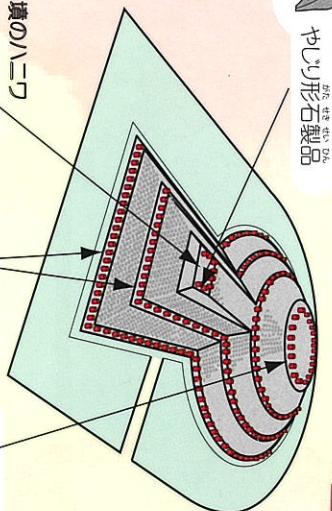


# 造られた頃の青塚古墳

古墳全体は川原石でおおわれています。右でおおわれた山に、赤く塗られた壺形ハニワ…。当時の姿を想像してみましょう。



想像図  
やじり形石製品

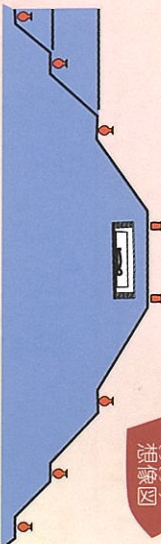


青塚古墳のハニワ  
ひれ付朝顔形  
円筒形  
壺形  
古墳の周りに約2mおきに置かれています。  
樽形  
後円部ならへらわれています。

発掘調査で見つかったハニワなどはガイダンス施設に展示してあります。

## ？ 後円部の中は？

後円部の中は発掘調査が行われていません。そのため、詳しい事はわかりませんが、地下の部屋に木の棺が納められ、王(有力豪族)が葬られていると考えられています。



想像図

# 過去・現在・未来へ

青塚古墳から、東へ約3キロほど離れた所に、大縣神社があります。神社では、「青塚古墳は大縣神社にまつられている神様の子孫のお墓」と言い伝えられ、神社の一部として、氏子さんや地域の皆さんと共に大切に守られてきました。1650年以上、ほとんど変わらなない姿のままここに残されてきた事で、国の史跡に指定されています。

この青塚古墳を守り、次の世代の人たちへ伝えていかなくたいはけません。その架け橋が、私たちなのです。



## 青塚古墳史跡公園

ガイダンス施設(まほらの館)

〒484-0945 愛知県犬山市青塚22-3  
TEL・FAX : 0568-68-2272

入館料/無料  
開館時間/午前9時～午後5時  
休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  
12月28日～1月4日

発行 犬山市教育委員会  
編集 NPO法人 古代遼波の里・文化遺産ネットワーク

改訂: 2019.11

ようこそ!

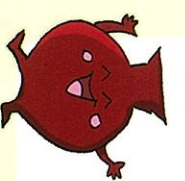
# 青塚古墳

古墳をぐるっと歩いてみよう!



青塚古墳は、今から1650年頃前(西暦350年前後)につくられた、愛知県で2番目に大きな古墳です。たれが眠っているかは謎ですが、この地域を治めていた王のお墓だと考えられています。

遠い昔に思いをはせながら古墳をぐるっと歩いてみよう!



# 青塚マツツ

青塚古墳には

見どころがいっぱい!

マツツを見ながら

古墳のまわりを

一周してみよう!



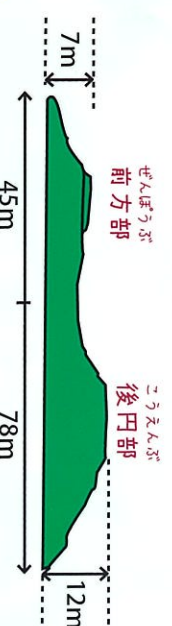
## 青塚古墳のかたち

青塚古墳のような古墳のかたちを前方後円墳といい、四角い部分を前方部、丸い部分を後円部とよんでいます。大きさは全長が123mで愛知県内で2番目に大きい古墳です。

後円部

前方部

真横から眺めてみよう!



ここから西の方角を眺めると、青塚古墳が周りに目立つように、少し高い場所に造られていることがわかるよ!



前方部には、少し高い壇(方形壇)が造られていて、周りに円筒ハニワが置かれていたんだ。



古墳には、ぐるりと壺の形をしたハニワがならんでいるね。ハニワには、ペンカラスという赤い顔料が塗られていたんだよ。

エノキの大木



古墳は、周濠といわれる濠で囲われているよ。古墳時代には、約1.5mの深さがあったんだ。

周濠

土橋  
(陸橋部)

古墳に続く道。ここから古墳に近づいてみよう!



青塚古墳は、1584年の「小牧・長久手の戦い」の時に「青塚砦」として利用されたんだ。ここから南の方角には、敵陣であった小牧山城が見えるよ!



## ガイダンスしせつ